

技能・技術功労士

国産イグサにこだわる畳づくりを 次世代へ継承



畳工 44年
野瀬畳店
のせ かずのり
野瀬 数則さん
(65歳)

「父の背中を見て育ち、私で三代目になります」と語る野瀬さんは、手縫いの畳を製造できる数少ない職人で、国産のイグサにこだわり、良質な畳を製造しています。また、若手職人の技術向上を目的に、定期的にボランティアで若手と一緒に畳張替え作業を実施しています。「最近では、後継者の問題で廃業される畳工が多いですが、機械化が進んだことで、女性の職人の道が拓けました。娘が四代目を継いでくれるので今は後進の育成に努めています」と野瀬さんは語ります。



奥様と四代目になる娘さんと共に畳を製造。